

令和元年度 第1回
 国立大学法人徳島大学・国立大学法人鳴門教育大学
 入札監視委員会会議議事概要

開催日及び場所	令和 2年 3月 5日(木) 14:00 ~ 15:00 徳島大学本部棟1階 第1会議室A	
委員	委員長 大寺 健司 (公認会計士・税理士・行政書士) 委員 永本 能子 (弁護士) 委員 竹村 文宏 (徳島文理大学教授)	
審議対象期間	平成31年 1月 ~ 令和元年12月	
抽出案件(合計)	2件	(備考)
工事(小計)	2件	今回の審議対象期間における再苦情の申し立ての審議依頼なし。
一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札(上記工事を除く)	2件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	2件	
公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	1件	
標準型プロポーザル方式	0件	
一般競争入札	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>議題1. 入札監視委員会委員長の選出について</p> <p>委員の互選により、大寺委員が委員長に選出された。</p> <p>議題2. 平成31年1月～令和元年12月に契約した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p> <p>事務方から、資料1～2により入札・契約手続きの状況について説明を行った。</p> <p>【意見等】 特になし</p> <p>続いて、抽出案件の審議を行った。</p> <p>①徳島大学（南常三島）フロンティア研究棟改修機械設備工事 入札方式等：一般競争入札、総合評価落札方式（実績評価型）</p> <p>事務方から、資料3に基づき説明を行った。</p> <p>【意見等】 ・なぜ入札金額が安い方が落札とならなかったのか。</p> <p>②鳴門教育大学（高島）ライフライン再生（屋外排水管）工事 入札方式等：一般競争入札、総合評価落札方式（実績評価型）</p> <p>事務方から、資料4に基づき説明を行った。</p> <p>【意見等】 ・応募者が3者しかなかったのはなぜか。</p> <p>・評価基準の工事成績が0点の理由</p> <p>・ワークライフバランスの項目で評価点として認定されるのは何があるか</p>	<p>・総合評価落札方式で入札を行った。開札の結果、評価値の高い方が逆転して落札となった。</p> <p>・特殊な工法の工事であったことや発注のタイミングが全国的に重なったため応募者が少なかったと思われる。</p> <p>・特殊な工法の工事であったため、同種工事の実績が少なかったと思われる。</p> <p>・ワーク・ライフ・バランス等の取組に関する認定状況については以下のいずれかの有無</p> <p>○女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定（えるぼし認定企業）又は一般事業主行動計画策定済（常時雇用する労働者の数が300人以下のものに限る）</p> <p>○次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定（くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業）</p>

- ③徳島大学（南常三島）総合研究棟（知能情報・南棟）改修設備設計業務
入札方式等：簡易公募型プロポーザル方式（拡大）

事務方から、資料5に基づき説明を行った。

【意見等】

- ・設計業務を建築設計と設備設計に分けているのはなぜか

- ④徳島大学（蔵本）総合研究棟（歯学系）改修Ⅱ設計業務
入札方式等：一般競争入札方式

事務方から、資料5に基づき説明を行った。

【意見等】

- ・落札率が47.92%と低くなっているがどういった理由が考えられるか

- ・資料2-2 基幹・環境整備の設計業務で電気設備設計より1ヶ月程度排水設備設計の契約日が遅い理由について

平成31年1月～令和元年12月の審議対象期間については、特に問題なく適切に処理されているとの審議結果である旨、本委員会において承認された。

事務から、来年1月末で満了となる委員の任期について、引き続きお受けいただくことを依頼し、内諾を得た。次年度も今年と同時期に開催を予定していることを連絡した。

○青少年の雇用の促進等に関する法律（若者雇用促進法）に基づく認定（ユースエール認定）

- ・それぞれの専門分野において、必要とされる資格が異なるため、両方の有資格者を配置できる事務所となれば、応募者が少なくなることが想定される。専門分野別にそれぞれの知識、経験を活かした設計を求め、分離している。

- ・一般競争入札方式で本学では初めての業者でもあり安く入札したものと思われる。2、3番手の入札者も予定価格を大きく下回って入札している。調査基準価格以上でもあるため落札とした。

- ・同時期に入札公告を出したが入札参加者がいなかったため、再度公告を行ったことにより、当業務の契約が遅くなった。